

印刷して学生
みなさんで
お読みください！



全国大学生協連
関西北陸ブロック
執筆者：久保初寧
協力：大阪大学生協
発行日：2026年1月2日

第385号

大阪大学生協 豊中キャンパス 書籍企画-顔文字BOOK-



取り組み概要

日時：2024/12/2~2025/1/10
場所：豊中キャンパス福利会館2階書籍サービス
参加者数や組合員の反応：売上冊数は79冊。「普段あまり本を読まないが企画中に10冊以上買った」「好奇心を掻き立てられて買ってしまった」などといった声があった。

背景や概要：充実した書籍サービスや購入でのポイント還元を知らない組合員が多いという背景があった。そこで小説を封筒に入れタイトルを隠し、読後感を表した顔文字と選者のコメントを封筒に貼って販売した。また、書籍サービスに関するポップ作成も合わせて行った。

本を手に取るきっかけを生む
店舗作り

POINT.1

目隠しで本への興味を掻き立てられる



2023年度に行った書籍（漫画）による目隠し本企画が好評だったことや「小説版の目隠し本企画をやってほしい」という声があったことから、2024年度は小説で目隠し本企画を行いました。

目隠し本の作成にあたり、文章でおすすめポイントを紹介するコメントだけよりは、絵の方が情報量が少なく通りかかった人の目を引くと考え、小説の読後感を表した顔文字を入れる封筒に貼ることにしました。また、顔文字やコメントは手書きにすることで、作成した学生委員ごとに個性が出て、組合員からも高評価でした。

顔文字とコメントという限られた情報だけで本を選ぶからこそワクワク感と楽しみながら読書に触れられる企画になっています。

企画実施の結果、2023年度の書籍企画の売上冊数35冊から2024年度は79冊まで伸ばすことができました。

POINT.2

書籍サービスの認知度調査も！

生協アプリで書籍を買うと10.5%付与されるという書籍サービスの認知度調査も行いました。シール投票を採用することで、気軽に投票できる工夫がなされていました。回答者95人中54人がこのサービスを知らないことが分かり、組合員の現状を把握することができ、認知度向上にも貢献しました。



POINT.3

書籍サービスの認知度向上に向けて

あまり知られていないという背景があった書籍サービスの認知度向上のために、写真のようなポップも作成しました。こちらも手書きで作成することで、より注目を引くことができていました。

